回覧

かんきょうだより

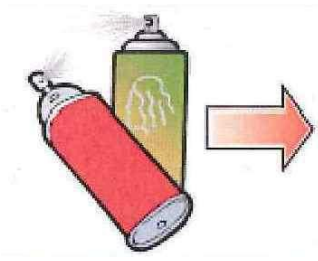
第53号

平成26年4月14日
【役場住民課生活環境係】
電話 ２－３１３３

スプレー缶やカセットボンベの適切な廃棄方法について

中身が残ったままのスプレー缶やカセットボンベをそのまま「ごみ」として出されますと、ごみ収集車への積込み作業中やごみ処理施設での作業中に爆発・炎上することがあり、大変危険です。

①



②

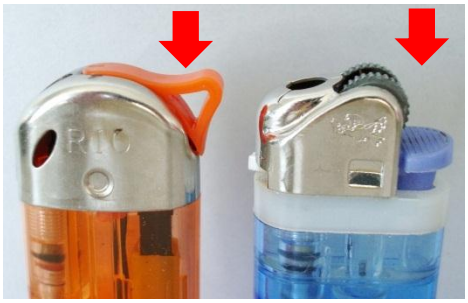
スプレー缶やカセットボンベの出し方

① 中身を使い切る
② 市販されている専用器具などで、たくさんの穴をあける。
※ 燃やせないごみ袋に入れて、収集日に出してください。

※ 穴をあけるときは、次の点に注意してください。
● くぎをさしたり、ハンマーでたたかないでください。
● 必ず中身を使いきってから、屋外で行いましょう。

不要なライターはガス抜きしてから捨てましょう！

（注）火の気のないことを確認し、風通しのよい屋外で行いましょう。



ガスの抜き方例

① 周囲に火の気のないことを確認する。
② 操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。
③ 輪ゴムや粘着テープで、押し下げたままのレバーを固定する。
④「シュー」という音が聞こえれば、ガスが噴出している。
⑤ この状態のまま付近に火の気の無い、風通しのよい屋外で半日から1日置く。
⑥ 念のために着火操作して、火が着かなければ、ガス抜きは完了です。
※ 燃やせないごみ袋に入れて、収集日に出してください。